

第3回 フォトフィッシング攻撃

フィッシングで狙われる情報は、銀行の口座番号や暗証番号等の直接お金に関する情報だけではなく、インターネット上のサービスを利用するためのログインIDやパスワードも狙われています。情報を詐取した人間は、不正にサービスへアクセスして個人情報を盗んだり、勝手に利用したりします。今回は、Yahoo!Photos での事例について紹介します。

- - - - 「APWG Phishing Activity Trends Report 2005年9月 日本語版」より抜粋 - - - -

9月期の特殊事例と新しい標的 フォト・フィッシング攻撃

< 中略 >

Yahoo! Photos での事例(警告)

Websense Security labs の報告によると、偽の Yahoo!のサイン・インページを表示することによりユーザーの Yahoo! ID とパスワードを取得しようとするものがここしばらく出回っていました。しかし最近これらのフィッシング用サイトが、今までとは異なる Yahoo! Photos などの Yahoo!サイン・インページを使用するようになってきました。

Yahoo! Photos の事例では、ユーザーが友達だと名乗る差出人からの eメールまたはインスタント・メッセージを受け取り、最近撮った休暇や誕生日パーティーの写真を見てほしいと告げられます。このメッセージにはフィッシング用サイトへのリンクがあり、ここでユーザーの Yahoo! ID とパスワードが記録されます。その後、この ID とパスワードは本物の Yahoo! Photos のサイトに転送されます。

これらのフィッシング用サイトのほとんどは、アメリカの Yahoo! Geocities が提供するフリー・ウェブスペース上に存在します。

